

ワークショップ開催のお知らせ



アメリカにおけるマインドフルネス認知行動療法の実際

マインドフルネス認知行動療法を高齢者の臨床で実施しているソーシャルワーカーを迎えて、2016年に引き続き第2回目のワークショップを開催します。

日時： 2017年10月1日（日）13時00分—15時00分

場所： 早稲田大学 26号館（大隈記念タワー）302教室

講師： Mariko A. Foulk 先生（ミシガン大学非常勤講師・ターナー老年科クリニック）

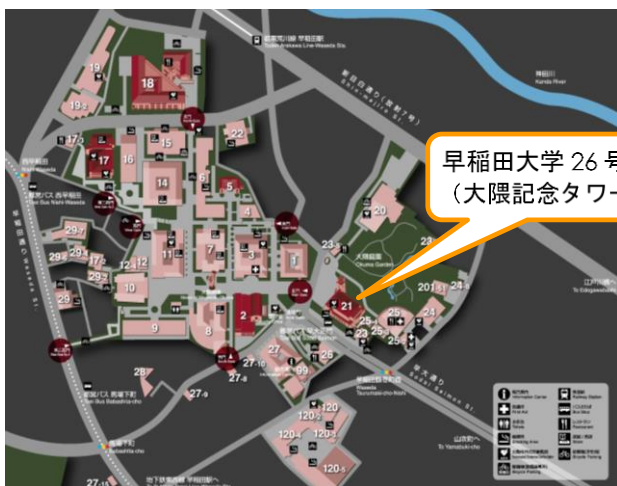
参加費： 5,000円（ミシガンネット会員は無料）

参加費・ミシガンネット年会費は、みずほ銀行 銀座通支店 普通口座 2009854
にお振込みのうえ、当日振り込み領収書をご持参ください。

申込み： NPO 法人 高齢者を支える学際的チームアプローチ推進ネットワーク
ホームページのお問い合わせフォームから申し込んでください。

Mariko A. Foulk 先生ご紹介

Foulk 先生は、この10年間、マインドフルネスを高齢者の心理療法に活用しています。初期には、弁証法的行動療法（DBT）の一環として、マインドフルネスを取り入れていましたが、その後、Zindel Segal 先生の薫陶を受けて、マインドフルネス認知行動療法（MBCT）を老年科クリニックで行っています。日本とアメリカで、老年科医療の学際的チームアプローチの理論と実践について、多数の著書を出版しています。2017年に、ミシガン大学老年科の優秀臨床家に贈呈されるアンソニー・デヴィドー賞を受賞されました。



会場周辺地図

交通案内

J R 山手線 高田馬場駅から徒歩 20 分
西武鉄道 新宿線 高田馬場駅から徒歩 20 分
東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩 5 分
副都心線 西早稲田駅から徒歩 17 分

主催： 特定非営利活動法人

高齢者を支える学際的チームアプローチ
推進ネットワーク（ミシガンネット）

<http://michigan-net.jp/>